



2018年10月4日、コロンブ(フランス)にて

アルケマの3Dプリンティングソリューション、3Dプリンティング用途に特化した新しいビジネスプラットフォーム

アルケマは、新たなビジネスプラットフォームの設立に伴い、革新的な3Dプリンティング市場における厳しいニーズ・要求に対応することを目標とし、主に3Dプリンティング技術と専門技術において、戦略的パートナー企業との幅広い開発を目指しています。このように、「アルケマの3Dプリンティングソリューション」は、3Dプリンティング分野を量産への採用・発展させるために支援します。

特に、新しいビジネスプラットフォームは、顧客、パートナー、機器メーカーと継続的かつ緊密な協力関係を構築し、製品開発における相乗効果を目指しています。それにより、量産に使用できる材料開発とサービスも提供することができます。

アルケマのThierry Le Hénaff会長兼CEOは、「今日、業界では、柔軟性、デザイン自由度、カスタマイズされた製品開発が必要であると認識しています。アルケマの新しいビジネスプラットフォームは、3Dプリンティング市場に参画する企業との幅広いコミュニケーションと技術革新により、新しい用途開発をサポートすることができます。」と述べています。

アルケマは、光硬化樹脂をはじめ、3Dプリンター向けに高性能な熱可塑性樹脂など革新的な材料を提供しています。光硬化性樹脂N3xtDimension®、植物由来ポリアミドRilsan®、超高性能Kepstan® PEKKなど主要製品を中心に、各機器メーカーとの協業により主要な3D製造技術(SLA、SLS、DLP、MJP、FDM等)に貢献しています。

3Dプリンティング、グローバルビジネスディレクターGuillaume de Crevoisierは、「アルケマの3Dプリンティング向け材料は、市場におけるグループの地位を高め、パートナーとの協業により3Dプリンティングの製造技術に発展に貢献できます。」と述べています。

アルケマは、3Dプリンティングへの投資を強化しています。2018年に米国でPEKK、2019年に中国で光硬化樹脂、2021年にはアジアで植物由来樹脂ポリアミド11など生産能力増強を発表しています。

また、今年7月にはExton(米国)でUV硬化樹脂に特化した3Dプリンティング向けR&Dセンターを開設しました。こちらでは、FDMを扱うKing of Prussia(米国)、SLSを扱うSerquigny(フランス)など既存の研究センターを補完する役割も担っています。

材料と革新的ソリューションの設計者であるアルケマは、様々な材料を具現化して新たな用途を創造し、顧客製品のパフォーマンス向上に貢献しています。当社の事業は、高機能材料、産業用スペシャリティ製品、コーティングソリューションの3領域を柱とするバランスの良い構成になっています。世界的に認知された当社ブランド群は活動する市場でリーダー的地位を確立しています。全社従業員約20,000人が世界約55カ国で事業活動に従事しています。2017年の全社年間売上高は約83億ユーロ(94億ドル)です。当社はすべての利害関係者(ステークホルダー)の皆様との積極的関係づくりに努めています。北米、フランス、アジアの研究センターでは、バイオ関連製品、新エネルギー、水処理、電子ソリューション、軽量材料及び軽量設計、住宅の省エネルギーと断熱の進歩発展に取り組んでいます。その他の最新情報については当社ウェブサイト(www.arkema.co.jp)をご覧ください。

お問い合わせ

電話： アルケマ株式会社 京都テクニカルセンター 075-326-7431

メール：[こちらのフォーム](#)より